ＡＰＵ	動作位置行後退	動作位置行後退は、動作位置を表示区画の行方向の長さで行方向に沿って前の行へ移動すること。 この移動により、表示区画の基準点が表示領域の端を越えることとなる場合、動作位置を行方向に沿って表示領域の最後の行へ移動する。
ＡＰＲ	動作位置改行	動作位置改行は、動作位置を同じ行の最初の位置へ移動し、動作位置行前進を行うこと。
ＰＡＰＦ	指定動作位置前進	指定動作位置前進は、パラメタＮ１（１バイト）により指定する回数の動作位置前進を行うこと。 パラメタＮ１は、04／０から07／15までの範囲とし、ｂ６からｂ１までの６ビットの２進値で０から63までの範囲で回数を指定する（ｂ８及びｂ７は、使用しない。）。
ＡＰＳ	動作位置指定	動作位置指定は、動作位置を表示領域の最初の位置から表示区画の行方向の長さで第１パラメタＮ１（１バイト）により指定する回数の動作位置行前進を行い、表示区画の動作方向の長さで第２パラメタＮ２（１バイト）により指定する回数の動作位置前進を行うこと。 各パラメタは、04／０から07／15までの範囲とし、ｂ６からｂ１までの６ビットの２進値で０から63までの範囲で回数を指定する（ｂ８及びｂ７は、使用しない。）。
ＣＳ	画面消去	画面消去は、表示画面の当該表示領域を消去状態とし、別表第三十号に示す初期化を行う。 画面消去は、ヘッダ文表示領域及び本文表示領域においてそれぞれ独立に機能する。
ＣＡＮ*	キャンセル	キャンセルは、現在の動作位置からその行の行末までを現在の表示区画の行方向の幅により背景色で埋めること。 動作位置は、移動しない。

別記第11　Ｃ１制御符号

Ｃ１制御符号	制御機能	制御内容
ＢＫＦ	前景色黒及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：黒　，ＣＭＬＡ　０ （前景色を黒に指定するとともに別表第二十六号のカラーマップ*下位アドレス（ＣＭＬＡ）を０に指定することを示す。以下同じ。）
ＲＤＦ	前景色赤及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：最大輝度　赤　，ＣＭＬＡ　１
ＧＲＦ	前景色緑及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：最大輝度　緑　，ＣＭＬＡ　２
ＹＬＦ	前景色黄及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：最大輝度　黄　，ＣＭＬＡ　３
ＢＬＦ	前景色青及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：最大輝度　青　，ＣＭＬＡ　４
ＭＧＦ	前景色マゼンタ及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：最大輝度　マゼンタ　，ＣＭＬＡ　５
ＣＮＦ	前景色シアン及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：最大輝度　シアン　，ＣＭＬＡ　６
ＷＨＦ	前景色白及びカラーマップ下位アドレス指定	前景色　：最大輝度　白　，ＣＭＬＡ　７
ＣＯＬ	色指定	⑴　着色指定ＣＯＬ　Ｎ１（１バイト） パラメタにより上記の前景色以外の前景色、背景色及びＣＭＬＡを指定すること。 ＣＯＬ　04／８　：前景色；透明　，ＣＭＬＡ　８ ＣＯＬ　04／９　：前景色；半輝度（最大輝度よりレベルを下げた輝度。以下同じ。）赤　，ＣＭＬＡ　９ ＣＯＬ　04／10　：前景色；半輝度　緑　，ＣＭＬＡ　10 ＣＯＬ　04／11　：前景色；半輝度　黄　，ＣＭＬＡ　11 ＣＯＬ　04／12　：前景色；半輝度　青　，ＣＭＬＡ　12 ＣＯＬ　04／13　：前景色；半輝度　マゼンタ　，ＣＭＬＡ　13 ＣＯＬ　04／14　：前景色；半輝度　シアン　，ＣＭＬＡ　14 ＣＯＬ　04／15　：前景色；半輝度　白　，ＣＭＬＡ　15 ＣＯＬ　05／０　：背景色；黒　，ＣＭＬＡ　０ ＣＯＬ　05／１　；最大輝度　赤　，ＣＭＬＡ　１ ＣＯＬ　05／２　；最大輝度　緑　，ＣＭＬＡ　２ ＣＯＬ　05／３　；最大輝度　黄　，ＣＭＬＡ　３ ＣＯＬ　05／４　；最大輝度　青　，ＣＭＬＡ　４ ＣＯＬ　05／５　；最大輝度　マゼンタ　，ＣＭＬＡ　５ ＣＯＬ　05／６　；最大輝度　シアン　，ＣＭＬＡ　６ ＣＯＬ　05／７　；最大輝度　白　，ＣＭＬＡ　７ ＣＯＬ　05／８　；透明　，ＣＭＬＡ　８ ＣＯＬ　05／９　；半輝度　赤　，ＣＭＬＡ　９ ＣＯＬ　05／10　；半輝度　緑　，ＣＭＬＡ　10 ＣＯＬ　05／11　；半輝度　黄　，ＣＭＬＡ　11 ＣＯＬ　05／12　；半輝度　青　，ＣＭＬＡ　12 ＣＯＬ　05／13　；半輝度　マゼンタ　，ＣＭＬＡ　13 ＣＯＬ　05／14　；半輝度　シアン　，ＣＭＬＡ　14 ＣＯＬ　05／15　；半輝度　白　，ＣＭＬＡ　15